

令和7年度 シラバス

教 科	商業	科 目	プログラミング	学 年	第3学年	学 科 類 型	情報ビジネス科
単位数	2単位	教科書	プログラミング マクロ言語（実教出版）				
副教材							

学習目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことによって、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に必要な資質・能力を育成します。
------	---

キャリア教育の視点	近年の急速な情報化の進展の中で必要になっているプログラミングについて、生活でのコンピュータの活用や問題の解決に必要な手順の理解、プログラミング的な思考の習得、コンピュータの働きを活かそうとする態度を養います。
-----------	--

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1章 情報システムとプログラミング	プログラミングの流れについて、基礎的な知識を学びます。	期末考査
	5月			
	6月	第2章 アルゴリズム	アルゴリズムの表現技法などアルゴリズムに関する知識、技術を身に付けます。	
	7月			
2 学 期	8月	第3章 プログラムと情報システムの開発	開発したシステムの評価などシステム開発の手順について学びます。	期末考査
	9月			
	10月	第4章 情報システムの開発演習	企業の業務改善に役立つプログラムを学びます。	
	11月			
	12月			
3 学 期	1月	第5章 ハードウェアとソフトウェア	ハードウェアとソフトウェアに関する知識、技術を身に付け、ハードウェアの機能とソフトウェアの効果的な活用について学びます。	
	2月			
	3月			

学習の方法	コンピュータを使用した実習を中心に授業を行い、プログラミングについてのスキルを身に付けていきます。また、ハードウェア・ソフトウェアを中心に、基本知識や用語を学習し、理解を深めていきます。検定取得にも積極的に取り組み、上位級取得に向けて学習していきます。
-------	--

評価の仕方	知識・技術は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、確認テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。 思考・判断・表現は、定期考査の成績と平常点で評価します。平常点は、検定の取得状況、確認テスト、授業態度、課題や提出物などを総合的に評価します。 主体的に学習に取り組む態度は、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながらよりよく学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。
-------	--

備考	
----	--